

岐阜大学教育学部 音楽教育講座 助教

近野賢一 バリトンリサイタル

KENICHI KONNO BARITONE RECITAL



BARITONE KENICHI KONNO

バリトン 近野賢一

演奏予定曲目

G.マーラー (1860-1911) G. MAHLER

- ・ 亡き児をしのぶ歌
- ・ リュッケルトの詩による 5 つの歌曲
- ・ 子供の不思議な角笛より
- ・ 若き日の歌より



PIANO HEDAYET DJEDDIKAR

ピアノ ヘダイエット ジェディカー

2019 **10/9** (水) 18 時開演 (17 時 30 分開場)

岐阜大学教育学部音楽棟 大合奏室ホール

〒501-1193 岐阜市柳戸 1-1

(E135 室)

主催 岐阜大学教育学部音楽教育講座

後援 岐阜市 岐阜市教育委員会 岐阜新聞社 岐阜放送

※ 未就学児のご入場はご遠慮ください

入場無料 (全席自由 要申込)

e-mail : konno@gifu-u.ac.jp

近野研究室 ☎058-293-2271

☎080-1868-4725

メールか電話でお申し込みください。
定員 50 名に達し次第、締め切ります。

PROFILE



近野 賢一 バリトン

KENICHI
KONNO

北海道出身。新潟大学教育人間科学部音楽表現コースを経て、京都市立芸術大学大学院修士課程音楽研究科修了。2007年に渡独し、バーデン・ヴュルテンベルク州立フライブルク音楽大学リート・オラトリオ科及びオペラ科を修了。バイエルン州立ミュンヘン音楽演劇大学大学院リート科を修了後、2012年に帰国。

国内外にて意欲的にドイツ歌曲リサイタルを行い、『遥かなる恋人に』、『美しい水車屋の娘』、『冬の旅』、『詩人の恋』、『リーダークライス op.24&39』、『四つの厳粛な歌』、『リュッケルト歌曲集』、『子供の不思議な角笛』、『R.シュトラウス歌曲集』など多数の作品を取り上げている。

オペラでは『ヘンゼルとグレーテル』ペーター、『ディドとエネアス』エネアス、『フィガロの結婚』伯爵、フィガロ、『魔笛』パパゲーノ、弁者、『ペイシェンス』コロネル、『ベレアスとメリザンド』ゴロー等を演じ、ソリストとしては『マタイ受難曲』、『ヨハネ受難曲』、『ロ短調ミサ』、『レクイエム（モーツァルト、フォーレ、ブラームス）』、『メサイア』、『天地創造』、『第九』、『パウルス』、『聖チェチーリアミサ』、『戴冠ミサ』、『さすらう若人の歌』などに出演している。

2006年京都でのリサイタルに対して青山音楽賞新人賞を受賞。友愛リートコンクール第三位、併せて日本歌曲賞受賞。大曲新人音楽祭コンクール奨励賞受賞。JSG 国際シューベルト歌曲コンクール第三位、ポーランドでの第17回ケイストゥット・バツェヴィッチ記念国際室内楽コンクールリート部門第三位、オーストリアでの第16回ブラームスコンクール入選。

シューベルトティアーデ（シュヴァルツェンベルク）、ヨーロッパ音楽祭（シュトゥットガルト）、サイトウキネンフェスティバル松本ほかにて、エリー・アメリンク、イェルク・デムス、白井光子、ディートリヒ・ヘンシェル、ロマン・トレケル、トマス・クヴァストフ、フリッツ・シュヴィンハンマー、ヴォルフラム・リーガー各氏のマスタークラスを受講。

これまでに、声楽を箕輪久夫、福島明也、マルクス・ゴリツキ各氏に師事、リート解釈を岡原慎也、ハンス＝ペーター・ミュラー、ヘルムート・ドイチュ、ジークフリート・マウザー各氏に師事。日本ドイツリート協会会員。

2018年5月1stCD『美しい五月に〜シューマン歌曲集』をリリース。

現在、岐阜大学助教、名古屋音楽大学非常勤講師。岐阜市在住。



ヘダイエット
ジェディカー ピアノ

HEDAYET
DJEDDIKAR

スイスのバーゼルに生まれドイツのボンに育つ。早くからピアノを始め、後にヴァイオリン、バロックフルート、オーボエを学ぶ。ローズマリー・ツァルトナー氏の薦めにより、フランクフルト音楽演劇大学にてヘルベルト・ザイドル氏に師事。在学中チャールズ・スペンサー氏のクラスを通して伴奏に目覚め、リートの研鑽を積む。大学院ではリート科及び室内楽科に進み、ライナー・ホフマン、オイゲン・ヴァングラー、ベルンハルト・ヴェッツ各氏に師事。また多くのマスタークラスにてアーウィン・ゲイジ、ハルトムート・ヘル、ヴォルフラム・リーガー、アクセル・パウニ、ウルフ・ベルシュタイン、トマス・クヴァストフら名演奏家からも教えるを受ける。

パウラ・ザロモン・リントベルクコンクール（ベルリン）にて優勝及び最優秀伴奏者賞受賞。ならびに国際シューベルトコンクール（グラーツ）でデュオとして入賞を果たしている他、シュレスヴィヒ・ホルシュタイン州からはノルトフリース・リート賞を授与される。

2003年より国際ブラームスコンクール（ベルチャッハ）及び国際ヒルデ・ツァーデクコンクール（ウィーン）の公式伴奏者を務める他、ミュンヘン国際コンクールにも公式伴奏者として召喚されている。

またバイエルン放送（BR）や南西ドイツ放送（SWR）、スイス放送（DRS）などラジオ放送での録音も多く、CDではクララ・シューマン歌曲全集〔NAXOS〕、ブラームス歌曲集〔OEHMS〕がリリースされている。

現在、フランクフルト音楽演劇大学、デュッセルドルフ音楽大学にてリートクラスを担当している。